



真宗大谷派
(東本願寺)

桑名別院 本統寺

ご坊さんだより

2023年

7月

第42回 真宗公開講座

さる6月25日(日)、三重県総合文化センター(津市)「フレンドみえ」多目的ホールにて、真宗公開講座が開催されました。

聴講に訪れた方々からは再開を喜ぶ声が多数寄せられました。

はじめに開講挨拶にて、実行

桑名別院が主催し、中勢・南勢・伊賀の地域の組長、門徒会長を中心とした実行委員会の皆様と連携しながら、お念仏をいただく聴聞の場を開いていきたいという願いのもと、年に一回開催しております。

当講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2年間の中止、そして人数制限を設けながらの再開を昨年果たしましたが、今回いよいよ制限なしにて大きく門が開かれ、300人近くの方々が聴聞に寄ら

講演後の質疑では「アンケートの性別欄に男・女・その他があるのか」という質問に「実務上必要なので、浄土ではその他以前に男も女もない」とお答えされ、また翌日先生より「答えたくないという選択肢もあれば良いね」と電話をいただくなど、皆が様々なことを考えさせられる講座となった。

閉講の挨拶にて、海野真人副実行委員長は意味深い講座であったと振り返り、日々の苦悩を教えるにたずねていくことの大切さについて述べられました。



安田 雅 (実行委員会顧問)



榎 歩 (実行委員長)



海野 真人 (副実行委員長)



会場の設営をする門徒会長の皆さん



お茶を提供する坊守会



福島プロジェクトの募金活動と、聴講者をお出迎える実行委員スタッフ(フロアにて)



海野 美佳 (司会)



写真撮影・提供
岡本 広之
(中勢一組 本福寺 住職)

「第42回 真宗公開講座」の講演について連載で紹介します。今月は講演冒頭、藤場俊基先生からいただきました、問題提起について紹介いたします。

法蔵菩薩の発願とその成就 ①

石川県野々市市 常讃寺 住職

藤場 俊基

3か月前、とりあえず講題をという依頼にさっと難しそうな講題をお答えしてしまいました。元々皆さんのお顔を拝見して、何を話すかその場で決めるタイプなので、難しい話をするつもりはありません。

「仏教とはどんな教えだろう」、「浄土真宗ってなんだだろう」、「なぜ南無阿彌陀仏なのか」・・・この3つを全部お話ししたり、どれかひとつを詳しくお話ししたりしています。ところで、

皆さん、仏教徒ですか？

会場「・・・」

真宗門徒ですか？

会場「・・・うん」

何か反応悪いですが（笑）

真宗門徒なんですよ？

会場「・・・はい」



真宗門徒には「しるし」があることはご存知でしょうか。誰が見てもこの人は真宗門徒だとわかる「しるし」があるのです。不思議そうな顔していますね。会場に入って20分程がたちましたが、その「しるし」が無かったので、今も皆さんが真宗門徒の皆さんなのか半信半疑で立っています。



真宗門徒の「しるし」としては「南無阿彌陀仏」という人、間違なく真宗門徒です。

しかし、どんな時も口にすることとは恥ずかしく感じたりもします。私の生まれ、石川県は全国の1%ほどの人口でありながら、全国の真宗大谷派のお寺の10%がある真宗大谷であります。そのため、お寺の法座や村人の葬儀の度に数百人が集まり、いたるところから念仏の声が聞こえる、それが私の原風景ですが、お寺に生まれて次期住職と期待される立場の私も、若い頃は念仏には抵抗

がありましたし、住職にもなりたくないと思っていました。

ですから東京の大学にいった、銀行で働いていましたが、これからの何十年という人生を考えるうちに、死にたいわけではないですが、たまたま何かで死ねたりはしないかなと考えるほど、生きていたいという意欲が持てなくなっていました。そういう私に、これまでの学校での学びは何の役にも立ちませんでした。その時、たまたま真宗の教えを聞き、とても惹かれました。そして、親鸞聖人の書かれた『教行信証』を読みながら、なぜ「南無阿彌陀仏」と言わなければならないのかを問う、学びの日々がはじまりました。

30年、40年近く読んでいますが、そうすると何となく書いてあることが分かるようになってきた。そうするとやっぱり念仏しないといかんなあという気持ちだけはつきり持っています。なぜかと聞かれると、いろいろ説明することはできますが、どれだけ説明しても、したくない人がするようにはありませんし、「わかった」という人さえ、「念仏するようにします」とはなかなかならないものです。子どもの時にいきなり念仏したいなあとはならない。それが今も続いているのです。

誰かが念仏していても知らん顔だったりするわけです。しかし念仏は唯一の「しるし」なんです。お互い全員を知っているわけではないけど、その人が「南無阿彌陀仏」といっていたら、この人も真宗門徒だなお互いに知らせ合っていることになるのです。

そういう教えがなぜ生まれてきたのか。どういうところから念仏する習慣が出てきたのか。そのことを考えないようになつてきた。お説教においても、大事なことは言っているのに真宗門徒の「しるし」に触れないお話になってしまっていたりする。

そして、仏教徒ですか？本当に真宗門徒ですか？と問われるとドキッとす。首をかしげてしまう。そのつもりだったんだけどなあ・・・と。

その問いに胸を張って「はい」と答えるためには何かはつきりしないといけないことがあるのではないかな。

ー生まれてきた家が真宗門徒だったー
それだけで十分ですか？

ー信心がはつきりしたー
これが必要ですか？

信心がはつきりした人しか真宗門徒じゃないのですか？

（次号に続く）

桑名別院 列座研修旅行

桑名別院列座一同の研修旅行が5月30日、31日の2日間で行われました。

これまでも列座としての研鑽と列座同士の親睦を深めることを目的とした研修旅行を年に一度行っておりましたが、コロナの影響でこの3年は中止になっておりました。それがこの5月コロナが5類に引き下げられたというタイミングで久しぶりの研修に行って参りました。

別院の列座は皆、自坊がありますので、急な法務が入り、行けなくなるといふ過去の事例もありますのでそれだけが心配でしたが、幸いにも参加を希望していた全員、安田雅輪番を筆頭に全13名で行くことができました。



今回の目的地は北海道札幌周辺。

北海道開拓の一役を担った本願寺教団の歴史を訪ね、元からある北海道の文化にふれる学習の旅でした。

到着してまず札幌別院を参拝。坂田智亮輪番より北海道布教の礎である札幌別院の成り立ちと現如上人をはじめとする歴史の説明を受けました。

2日目の研修は苫小牧市にあるアイヌ文化を総合的に学習するためにできた施設である「ウポポイ」まで足を伸ばしました。「ウポポイ」アイヌ文化のテーマパークと呼ぶにふさわしい場所でありアイヌの生活様式やその根本にある思想。また音楽や刺繍などの芸術作品を感じることのできる素晴らしい場所であ

り、私たちも興味深く視察することができました。

もちろん研修以外の時間には観光も楽しみ、札幌市内の観光や、夜には今年オープンしたプロ野球日本ハムの本拠地「エスコンフィールド」を訪ね野球観戦も楽しむことができました。

また食事ではジンギスカンやラーメンなどの北海道グルメも堪能しました。

北海道はどこにいくにも移動時間が長いということもあり、2日間は限られた短い時間でしたが、やはり一緒に研修旅行に行き、いわゆる「寝食をともにする」ということをして、それが長くできなかったコロナの時期を経験しているだけに他に代えることができないつながりが生まれたという実感が湧きました。

(法務員 藤井)



奥能登地震から2か月

5月5日に奥能登で発生した最大震度6強の地震から2か月が経ちました。

多くのご寺院が被災され、千件近くの住宅が被害を受けました。被災地では今もお復興作業が進められております。

桑名別院では被災地に向けての募金箱を本堂前に設置し、集まった救援金を宗門を通じて現地の救援活動にお役立ていただけるよう、6月28日付で8万8千400円を送金させていただきました。

別院人事のお知らせ

【二〇二三年七月一日付】

安田 雅

輪番を退任

(現職 名古屋教務所長)

【二〇二三年七月一日付】

長澤 隆司

輪番に就任

(前職 名古屋教務所次長)



7月の行事予定



法話（又は講演）のご案内

◇ 人生講座 会費 500 円

7月2日（日） 午前7時～8時

講師 **安田 豊**

（多度町 法泉寺 住職）



※毎月第一日曜日開講。次回は8月6日（日）、
講師 酒井 誠（伊勢市 道浄寺 住職）

◇ 同朋会 会費 500 円

7月7日（金） 午後1時～3時

講師 **長澤 隆司**（桑名別院輪番）



毎月第一金曜日開講。

次回 8月4日（金） 午後1時～3時

◇ 桑名別院法話のつどい

7月13日（木） 午後1時～3時

講師 **伊藤 英基**

（四日市市 本誓寺 住職）

◇ 親鸞聖人御命日のつどい

7月28日（金） 午後1時～3時

講師 **黒田 法雄**

（愛西市 随順寺 住職）

◇ 晨朝法話

毎朝 午前7時 法話 別院列座
（13日、28日の御命日は輪番）

◆ 第57回 暁天講座 午前6時20分～

7月13日（木） **鶴見 晃**（同朋大学教授）

14日（金） **岸畑聖月**（助産師）

15日（土） **乾 文雄**（大谷中学高等学校講師）

16日（日） **荒山 信**（名古屋市昭和区恵林寺住職）

17日（月） **玉置妙憂**（僧侶/看護師/ケアマネージャー）

聴講料 500 円 / 聴講回数券 2,000 円

（受付にてパンと牛乳をお配りしています）

法要（お勤め）のご案内

◇ 晨朝（おあさじ） 毎日午前7時～

◇ 祥月経 毎日午前9時～

13、28日は午後1時～、又31日は30日に兼ねます。

他の時間に祥月経をご希望の方、
または年忌等、各種お参りをご希望の方は
寺務所までお問い合わせください。

◇ お夕事 毎日午後4時～

◇ 御命日のお参り

前住上人 13日 / 親鸞聖人 28日



前 日：午後1時より逮夜

御命日：午前7時より晨朝、午前9時より日中

◆ 御歴代御命日

7月11日（火） 従如上人 第16代

7月25日（火） 宣如上人 第13代

前 日：午後4時より逮夜

御命日：午前7時より晨朝 兼 日中



お知らせ

7月30日（日） 午後2時～午後5時30分

アフリカンとマリンバ お寺 de ライブ

～ジャンベとマリンバのユニットによる演奏～

お勤めと法話もあります [場所] 桑名別院

大人 1,500 円/中高生 1,000 円/小学生以下 無料



奉仕活動のご案内

7月6日（木） 午前9時00分～（2時間程）

仏具のおみがき（本堂にて）

持ち物：作業のできる服装

7月11日（火） 午前8時30分～（2時間程）

清掃奉仕活動（別院境内）

桑名別院婦人会、桑名組門徒会を中心に行いますが、誰でもご参加お待ちしております。***

真宗大谷派（東本願寺）
桑名別院 本統寺

〒511-0073 三重県桑名市北寺町47番地
全日 開門 6:00 / 閉門 17:00（寺務所 平日 9:00～17:00）
TEL（0594）-22-0652 FAX（0594）-22-0681
メール kuwanabetsuin@gmail.com

